

Dr.ひろみの

# ハッピー子育てひろば



☆プロフィール☆  
鈴木 裕美 (すずき ひろみ)  
香川大学医学部 小児科専門医

みなさん、今年最後の子育てひろばになりました。お元気ですか。私はフリースペースにおもしろそうな本を集めて置いています。最近まっているのが絵本屋さん大賞5冠のヨシタケシンスケさんの絵本です。特に「それしかないわけないでしょう」が秀逸です。大人が「未来の世界は大変なことばかり」って言うても、「選択肢は二つだけ」って言うても、「それしかないわけないでしょう」って言い返す。もっともっと大きな視野で探したり、豊かな創造力を使って創り出せば、選択肢は無限大！考え方ひとつで楽しい未来が見えてくる。なんかワクワク元気になる絵本です。

今日は  
**「道はたくさんあることを教える」** 月 日  
について考えます。



私たちは自分の育ちや経験にしばられて生きており、その狭い価値観を子どもたちに押し付けてしまいがちです。例えば、学校は毎日行くもの、中学では部活を頑張るもの、高校はみんな行くもの、仕事は安定した会社じゃなきゃだめなど。真面目な子どもほど、親の、世間の価値観に縛られて、そこでうまく成果が出せないことに悩み、傷ついています。苦しいから布団から出られない、ゲームをやめられないのかも、

**「道（選択肢）がたくさんあることを教える」とはどういうことでしょうか？**



**例えば**  
① 苦手な級友がいて、仲良くできない。みんなと仲良くが難しい。  
② 学校に行かないと勉強できなくて進学できない。このまま引きこもりになったらどうしよう。

沢山の道が選べる？

**例えば**  
① 人間だから気の合わない人もいる。無理に仲良くしなくてもいい。学校以外で友達をつくれればいい。  
② 勉強する場はいろいろある。適応教室もオンラインもある。全日、夜間、通信、職業訓練校、高卒認定をとって進学などなど。人との関わりはアルバイト、ボランティア、趣味活動でも学べる。居場所はいつでも見つけられるから大丈夫！

〇〇すべきという固定観念に縛られると

いろいろな道があることを教えると

自分は生きる価値がない  
自分はダメな人間だ



他の方法を試してみよう  
頑張って乗り越えられた！

大事なのは、親が「他にも道がある」ことを認め、知らなければ子どもと一緒に探すこと！子どもが「自分で選んだ」（自分の気持ちを大切にもらった）という感覚をもつこと！

日本人は他の民族と比べて、圧倒的に人生に「安定」を求めると言われ、不確かなものにチャレンジすることを嫌います。ですが、コロナ禍で「安定した職業」とは何か、本当にわからなくなりましたね。「LIFE SHIFT（ライフ・シフト）」という本では、「特定のロールモデルに従っていればいい時代はなくなり、新しい生き方の実験が活発になる時代」になり、一人一人が「実験と探求」を通して「生産的に生きる人生を設計する」と言っています。子どもに古い安定志向を植え付けることは人生の足かせになる可能性があります。「道はいくらでもあるし、ないなら作る」という思考こそが、新時代の「安定」につながるのかもしれない。